

比較経済体制学会 2020 年度第 60 回全国大会開催のお知らせおよび自由論題報告者募集
について

比較経済体制学会 2020 年度全国大会は、2020 年 6 月 20 日（土）、21 日（日）の二日間にわたって、西南学院大学（福岡市）で開催される予定です。大会初日（20 日）に実施予定の共通論題のテーマと報告者が決定しましたので、お知らせします。

共通論題：自由貿易体制の動揺と今後：比較経済体制論の視角から

報告者：上垣彰（西南学院大学）、宇山智彦（北海道大学，非会員）、金野雄五（みずほ総研）、樋渡 雅人（北海道大学）、堀江典生（富山大学）、渡邊真理子（学習院大学）（あいうえお順，敬称略）

「自由貿易体制の動揺」というのは、特にトランプ政権の出現により、これまで WTO を中心として築かれてきた体制，自由貿易を促進する様々な枠組みが揺るがされていることを指します。米中の貿易戦争，イギリスの EU 離脱騒動，日韓のコンフリクト等々です。トランプだけでなく，各国にミニトランプのような指導者が次々に現れている事態を見ると，自由貿易体制はもう過去のもので，トランプが来年までに姿を消しても，そこにはもう戻らないのではないかとさえ思われてきます。このような問題意識から，この現象をどうとらえたらよいのか，このことは今後の世界の対外経済関係，多国間の取組み，各国の経済体制・政策にどのような影響を及ぼすのかについて考察します。なお，適当な言葉がないので，自由貿易体制としていますが，労働力や資本の移動など，財の貿易以外の対外経済関係も視野に入れていきます。共通論題は，6 月 20 日（土）を予定しています。

前号のニューズレター NO.62 でもお知らせしたように，自由論題の報告者の募集を引き続き行っています。自由論題での発表を希望する会員は，以下の事項を下記連絡先にお知らせください。応募締め切りは，2020 年 3 月 31 日（火）午後 5 時です。

- (1) 氏名・所属・連絡先
- (2) 報告論題
- (3) 報告内容の骨子（400～600 字程度）

自由論題応募先：

樋渡雅人

〒060-0809 札幌市北区北 9 条西 7 丁目 北海道大学大学院経済学研究院

E-mail: mhiwatari[at]econ.hokudai.ac.jp ※[at]を@に変更ください。

報告希望は、最大限尊重するつもりですが、会場等の都合により、ご希望に添えない場合もあります。あらかじめご了解ください。なお、パネルセッションをご希望の際は、下記の大会プログラム委員会へお早めにご相談ください。

大会組織委員長：上垣彰（西南学院大学）

大会組織委員：小出秀雄（西南学院大学）、志田仁完（環日本海経済研究所）、武田友加（九州大学）、柳学洙（北九州市立大学）

大会プログラム委員長：田畑伸一郎（北海道大学）

大会プログラム委員：安達祐子（上智大学）、上垣彰（西南学院大学）、梶谷懐（神戸大学）、樋渡雅人（北海道大学）

（大会プログラム委員会）

なお、比較経済体制学会第 59 回全国大会会員総会で承認された「比較経済体制学会若手会員旅費助成規程」（前号ニューズレターNO.62 の 8 頁に全文記載）は、本大会より適用されます。現在、申請書等の必要書類を作成しており、準備が出来次第、本学会の WEB サイトや会員向けメーリングリスト等にてお知らせします。

（事務局）